

私のすすめるこの1冊

林 英彰 (体育学科 准教授)

『「小池劇場」が日本を滅ぼす』

有本香 (著)

2020年の東京五輪が苦難に見舞われています。理由は多々ありますが、現在進行中の深刻な問題は、中央卸売市場の移転にまつわるものです。東京五輪の主要競技会場は、代々木の国立競技場を中心とするヘリテッジゾーンと湾岸地域に広がるベイゾーンに大別され、その接点に近い晴海埠頭に選手村が建設されることになっています。計画では、選手村の北1kmほどの所にある築地市場を豊洲新市場に移転し、その跡地の地下に環状2号線を通して五輪道路として活用するとともに、跡地の地上部分は五輪関連車両の駐車場を仮設して輸送拠点とすることになっていました。

しかし、2016年11月に開始されるはずだった市場移転は、いくつかの不安要素が指摘されたことを機に暗礁に乗り上げ、このままだと東京五輪は、輸送の大動脈を欠いたまま開催を迎えることになりかねない状況に陥っています。すでに環状2号線の当初計画は間に合わず、仮設道路で凌ぐことになっているのですが、それさえも怪しくなりつつあります。

以上のような状況認識が五輪関係者の間で共有されているのですが、この点に関する有本の主張は、冷静で合理的な判断があれば不要な遅滞は避けえたということであり、その不要な遅滞を招いたのは東京五輪の主催者である小池百合子東京都知事その人だという点にあります。

しかし有本が、真に糾弾の対象としているのは、わが国の大手メディアの報道姿勢です。小池知事が

移転判断先送りの理由とした事項については、良識的な専門家がすでに早い段階から杞憂であることを指摘していたのですが、大手メディア、とりわけテレビのワイドショーは、これらの冷静で合理的な判断を黙殺して、ひたすら世間の不安を煽ることに熱中しました。小池知事を「正義のヒロイン」として持ち上げ続けるテレビメディアは、まさに「小池劇場」と化していたわけです。その結果が、2017年7月の東京都議選における都民ファーストの会の圧勝でした。これにより、都知事と少数の側近による専断政治をチェックすることは極めて難しくなってしまったのです。

実は、本書の出版は、都議選の公示を間近に控えた6月10日で、有本の政治思想や交友関係に鑑みて、「小池知事に対するネガティブキャンペーンに過ぎない」という評価も散見されます。しかし、その後のある時期から、大手メディアが多少なりとも事実に基づく小池報道をし始めると、ガラッと空気が変わってしまったのはご承知の通りです。

昨今、学校教育においても「主権者教育」の重要性が指摘されていますが、私たちの目となり耳となるべき大手メディアは、残念ながら有権者の冷静で合理的な判断に資する情報を十分に提供してくれる状況にありません。主権者が真つ当な判断をするためには、自らが情報を適切に取捨選択しなければならないのが実情です。本書は、社会的な情報を受け取る場合の、見方、聞き方、疑い方を学ぶには良い教材であるように思います。

読書の秋 芸術の秋

みなさんは、どんな秋を過ごしますか？
図書館でも様々な催しがあります。ぜひ、来館ください！

これから開催です！

企画展示室(北館1階) ※図書館開館時間に準ずる

- ◆化石標本を用いた博物館作り(中等理科教育Ⅲ)
【会期】11月2日(木)～11月8日(水)
- ◆第22回教科書展
環境教育副読本の歩み ～森林、エネルギーの扱いを中心として～
【会期】11月9日(木)～12月27日(水)
- ◆同窓会写真展
【会期】11月10日(金)～11月13日(月)
- ◆e-project 「重複障害ってなあに？」～学生ボランティアを通じて～
【会期】11月24日(金)～12月25日(月)



↑ 教科書展

【報告】企画展示室にて、開催されました！

- ◆アート・プロジェクト特別企画
障害者支援施設「一麦」展いのちの色とかたち
— 色うたう、線・かたち輝く空間へ —
【会期】10月2日(月)～10月21日(土)
【主催】京都教育大学 美術科、発達障害学科
【協力】社会福祉法人大木会 一麦



↑ 一麦展 →



- ◆2017年度
MOA 美術館伏見区児童作品展
【会期】10月27日(金)～10月28日(土)
子ども達の力作が勢揃いしました！

← MOA 展

第29回うたとおはなしの会

【日時】2017年11月25日(土) 10:30～11:30
【場所】附属図書館北館2階 研修セミナー室1
【定員】130名(事前申込要、先着順)
うたとおはなしの会は、今回も秋を満喫できるうたやお話をたくさん用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。大人気の人形劇は「さるかに合戦」を上演予定です。

幼児教育科主催 **えほんのもり** (場所：児童書コーナー)

今月は「第29回うたとおはなしの会」を開催しますので、「学生による絵本のよみかかせ」、「今月の絵本カード(学生作)」はお休みです。次回は、**12月**の予定です。

お楽しみに！

わくわく kyo2 ライブラリー2017 読書キャンペーン

図書館で借りた本の紹介をして、そったくんグッズや図書カードをもらっちゃおう！

実施期間：2017年10月10日(火)～2018年1月15日(月)

借りた本のポップ(A6サイズ、イラストやキャッチコピーなど)や、紹介文(400字～600字程度)を提出してください。提出者には参加賞(そったくんグッズなど)を進呈します。全作品の中から優秀なものには館長賞(図書カード)が授与されます。

【対象者】本学学生(学部学生、大学院生、科目等履修生、研究生等)
詳細は、館内ポスターや附属図書館HPなど各種お知らせをご覧ください。

リクエストと投票で 話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

●リクエストは随時受け付けています

リクエストや投票にどんどん参加してください！

11月の投票期間は

11月15日(水)～30日(木)です。

※図書館1階渡り廊下・北館2階研修セミナー室前に展示しています。

リクエスト方法については、
館内掲示をご覧ください



図書館講習会のお知らせ

4～6月に実施した講習会を10～11月にも開催します。

※詳しくは、図書館HPやポスターをご覧ください。

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

【場所】北館2階ラーニングコモンズ

【時間】16:30～19:30の該当時間

企画展「茶道具が語る戦争
—モノから考える平和学習—」

【期間】11月6日(月)～12月24日(日)

【時間】月・水・金・日 13:30～17:00
(ただし、11月11日(土)は開館)

第6回 京都・大学ミュージアム連携
スタンプラリー(本学は参加大学です。)

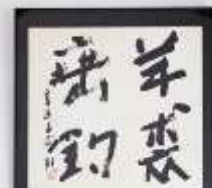
2017年9月30日(土)～12月9日(土)
京都の大学ミュージアムをまわって「知」と「美」と「素敵な景品」を手にしよう！

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品

「羊裘垂釣(ようきゅうすいちょう)」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしておりますので、ぜひ教育資料館へ来てくださいね！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **内田 利広** (教育学科 教授)

発達障害児の母親の心理的負担と支援との関連について － 学校生活の実態把握を通して－

内田 利広・雲財 理紗

京都教育大学紀要. 2017, No.130, pp. 111-124

発達障がいのある子どもを抱えた母親への支援を考えていくときに、母親はどのようなことに困っており、何を求めているのかを明らかにしようとしたのが、この論文でした。

まず、12名の母親に直接インタビューという形で、話を聴きました。このように、インタビュー等の分析を行い、その語りの中から心のプロセスを明らかにしようとする研究を、質的研究と言います。これは、多くの人への質問紙調査で、データを集めて、統計的に処理する方法とは異なり、一人ひとりの保護者の思いをくみ取りながら、新たな概念を抽出していくというアプローチです(修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチと言います)。

インタビューの結果から、「母親の中で巡る思い」「父親との関わり」「担任との関わり」「支援の先生との関わり」「周囲や専門機関との関わり」という5つのコア・カテゴリーが抽出され、コア・カテゴリーの中に、さらに細かいいくつかのカテゴリーがあり、それからの関係性が、最終的に関係図として、まとめられています。この図を見ると、発達障がいのある子どもを抱えた母親の、心理的負担の全体像を見ることができます。私がこの中で注目したのは、父親との関わりです。母親は大変な苦労の中で、父親にも関わりを求めているのですが、父親の関わりは、微妙にずれているのです。そして、父親が母親にとっての信頼できる相談相手となることで、母親の心理的負担は、かなり少なくなるようです。これは、我が身を振り返って、考えさせられる結果でした。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 130 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00
■学内者のみ(9:00~17:00) ■休館(CLOSED)

2017年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11/1 館内整理日
11/10-12 藤陵祭

2017年12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12/2 推薦入試(学外者来館不可)
12/9 推薦入試
12/26-1/8 冬季休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.206(2017年11月号)

発行日:平成29年11月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

